

カンガルリフター

KGL

取扱説明書

KGL20F KGL20HF
KGL20SF KGL20SHF
KGL40F KGL40HF
KGL40SF KGL40SHF

このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

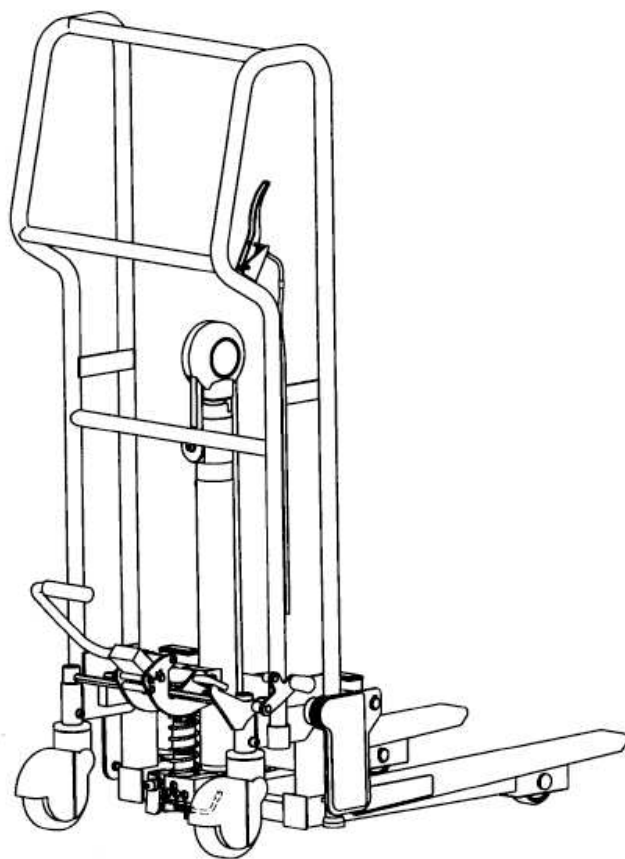
ご使用前にこの取扱説明書を読み、内容を理解してから正しくお使いください。

なお、お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管していただき、万一紛失された場合にはすみやかに販売会社にご請求ください。

また、製品に貼り付けてある警告シール等が剥がれた場合もご請求ください。

本説明書は当製品を安全に使用するための案内書です。本説明書の記載と異なった操作を行った場合、重大事故に結びつくことがあります。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。当製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書をお渡しください。



目 次

目 次	1
1 安全上の注意	2
2 使用上の注意	2
3 各部の名称	2
4 標準本体仕様諸元	3
5 始業点検	4
6 操作方法	4
6-1 上昇操作	4
6-2 下降操作	5
6-3 移動	5
6-4 車輪ストッパー	5
6-5 KGL リフターポンプペダル高さ変更方法	6
7 油圧回路図	6
8 定期点検	7
9 故障と対策	7
10 廃 棄	8
11 商品保証規定	8
12 アフターサービスについて	9
13 梱包リスト	10

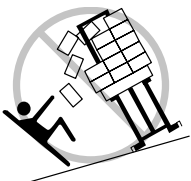
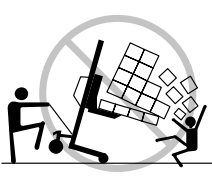
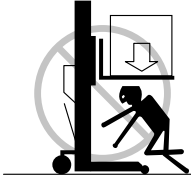
1 安全上の注意

カンガルリフターをご使用いただく前に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
※お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

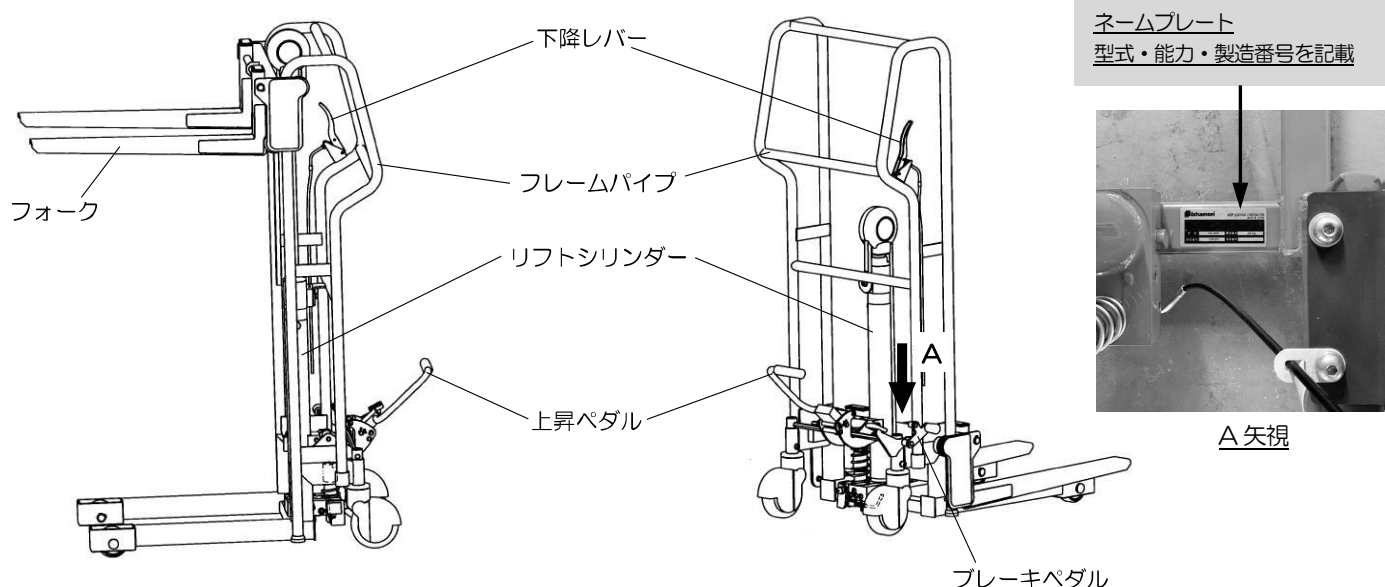
用語および記号の説明

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的な損害の発生が想定される場合。

2 使用上の注意

⚠ 警告					
	傾斜地ではリフターを使用しないでください。	荷物が高い位置での移動や旋回はしないでください。	フォークの先端では能力は低下します。先端だけに荷重をかけたりしないでください。	フォークに人を乗せないでください。	フォークの下に入らないでください。
⚠ 注意	- 取扱説明書をよく読み、十分理解して正しい方法でご使用ください。 - 定格能力を守ってご使用ください。 - チェーン、プーリー部や他の動く部分に手を入れないでください。 - 移動時にフレームと床の隙間や車輪に足を挟まれないように十分距離をとってください。 - 片方のフォークに偏った荷重をかけることはやめてください。本機の破損や荷崩れにつながります。 - 十分な機能を維持するため、取扱説明書に従って、定期的な保守点検を実施してください。				

3 各部の名称

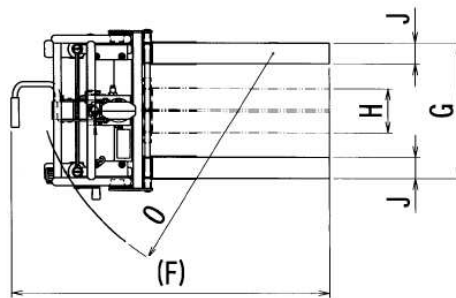


4 標準本体仕様諸元

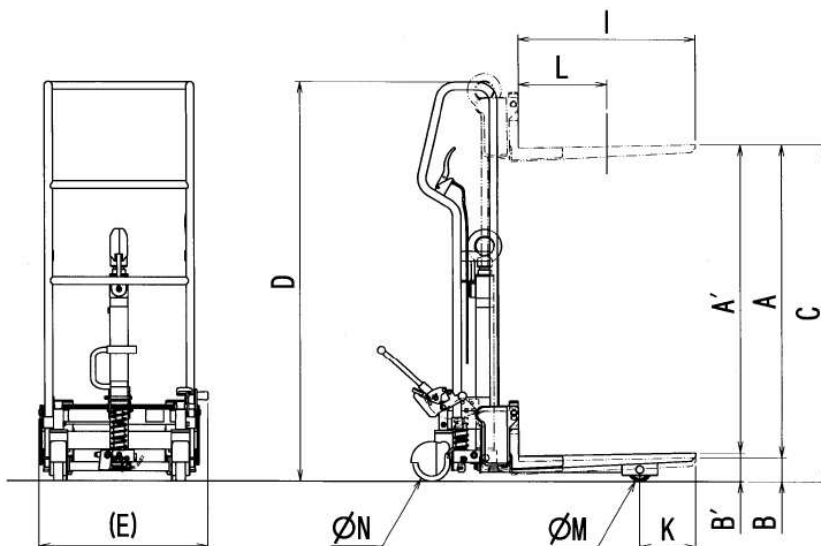
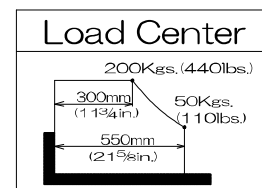
仕様・寸法

型 式			KGL20(S)F	KGL20(S)HF	KGL40(S)F	KGL40(S)HF
	能力	Kgs	200		400	
A	揚程（内側／外側）	mm	670／655	1040／1025	670／655	1010／995
B	最低フォーク高さ（内側／外側）	mm	80／95			
C	最高フォーク高さ	mm	750	1120	750	1090
D	全高	mm	1000	1344	1020	1375
E	全幅	mm	571		626	
F	全長	mm	1075		1133	
G	フォーク調整幅最大（外寸）	mm	454		495	
H	フォーク調整幅最小（外寸）	mm	148		232	
I	フォーク長	mm	600			
J	フォーク幅	mm	70		110	
K	フォーク先端から前車輪まで	mm	191		215	
	ポンプ操作回数※ （無負荷上限まで）	ポンプペダル高さ高位置	9	13	15	20
	ポンプ操作回数※ （全負荷上限まで）	ポンプペダル高さ高位置	16	23	27	38
L	ロードセンター	mm	300			
M	前輪	mm	80		70	
N	後輪	mm	125			
O	回転半径	mm	808		846	
	自重	約 kg	56	62	81	94
	オイル量	ℓ	0.3	0.4	0.5	0.6

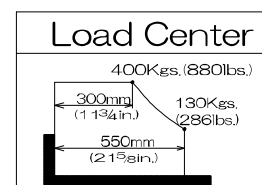
※ 目安回数です。最低フォーク高さの時は、フォークがGの位置になります。



KGL20(S)F、KGL20(S)HF



KGL40(S)F、KGL40(S)HF



5 始業点検

点検は本製品を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に下記の事項を点検してください。

⚠ 注意

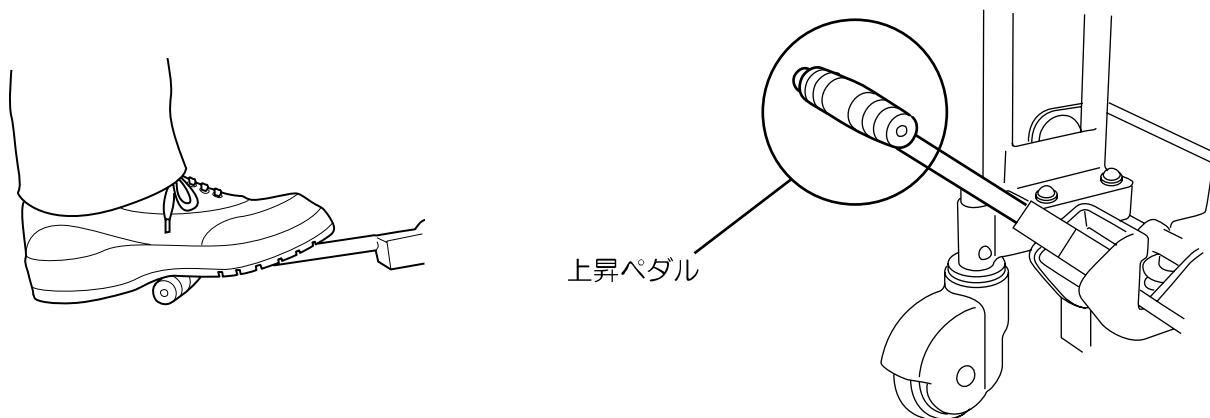
異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。そのままお使いになるとリフトの破損、および事故につながる危険性があります。

毎日作業前に実施してください。

1. フレームパイプに傷、曲がり、亀裂などはないか。
2. フォークに歪み、亀裂などはないか。
3. 前後輪の動きは良好か。
4. 油圧回路やシリンダーからオイル漏れはないか。
5. チェーンに傷、キンク、亀裂などはないか。
6. ワイヤーに錆、素線切れはないか。
7. 自然降下はないか。
8. ブレーキの効きは良好か。
9. 上昇ペダルを踏んだ時フォークが上昇するか。
10. 下降レバーを握り、フォークを下降させる途中でレバーを離すとフォークが止まるか。

6 操作方法

6-1 上昇操作



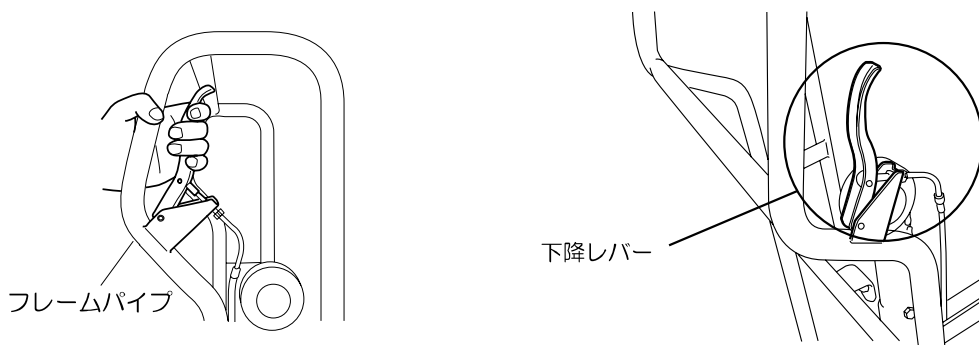
- ① 荷重の中心がフォークの中心になるように積載してください。
- ② 上図のように上昇ペダルを踏むことによりフォークが上昇します。用途に合った高さまで上げてください。

⚠ 注意

能力以上の荷物を上げないでください。また能力以内の荷物でもフォークの先端に荷物の重心がある場合には、十分な能力が出ないばかりか本体を破損するおそれがあります。

このリフトには早送り機能がついており、無負荷では早く上昇するようになっています。負荷がかかると負荷条件によりポンプ操作回数が増えます。

6-2 下降操作



- ① 上図のように下降レバーを握るとフォークが下降します。（フォークが下限より上部にある場合）
- ② 下降レバーを離せば下降は止まります。

⚠ 注意

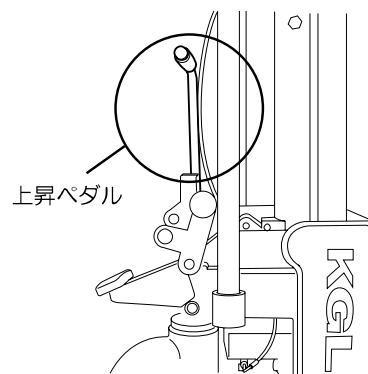
レバー操作は握り具合を加減し、下降速度を荷重に応じて調整してください。
一気に強く握るとフロコン設定速度まで急速降下し、荷崩れなどを引き起こす場合があります。
レバー操作する際、レバーとフレームパイプの間に指を挟まないように注意してください。
移動時に下降レバーに手をかけないでください。

6-3 移動

- ① ハンドルパイプの傾斜部分を持ってゆっくりと移動させてください。
（上昇ペダルは右図のように折りたたんでお使いください）

⚠ 注意

荷物を高い位置にしたまま移動や旋回をしないでください。移動時は下降レバーに手がつかないようにしてください。



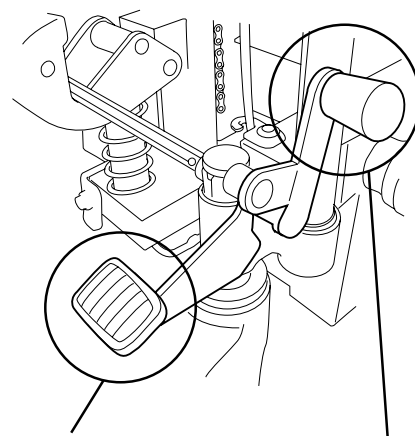
6-4 車輪ストッパー

本機が移動しないように右側の自在車輪の横にストッパーがあります。
（左右の車輪共にロックがかかる構造になっています）

- ① 車輪をロックする。
ペダルを踏んでください。
- ② ロックを解除する。
ロック解除ペダルを踏んでください。

⚠ 注意

移動の時以外は必ずブレーキをかけてください。不意に移動して事故につながることがあります。

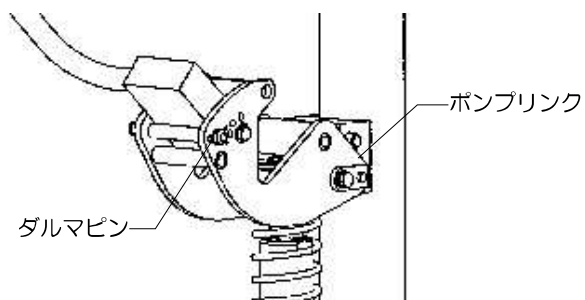


① ストッパーペダル

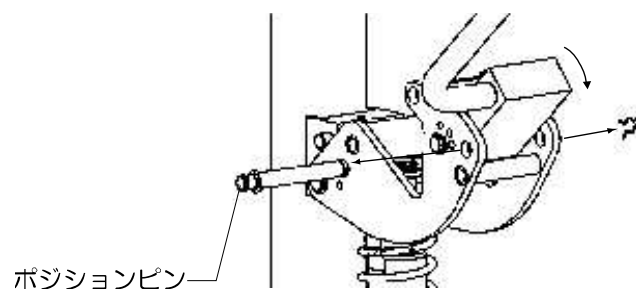
② ロック解除ペダル

6-5 KGL リフターポンプペダル高さ変更方法

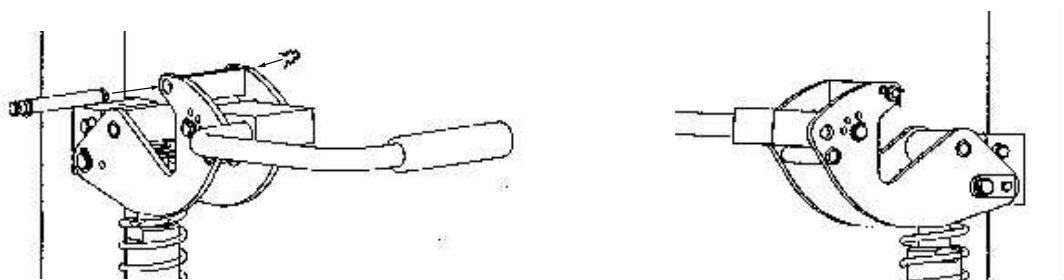
- ① ポンプリンクのポジションピンを止めているダルマピンを外します。



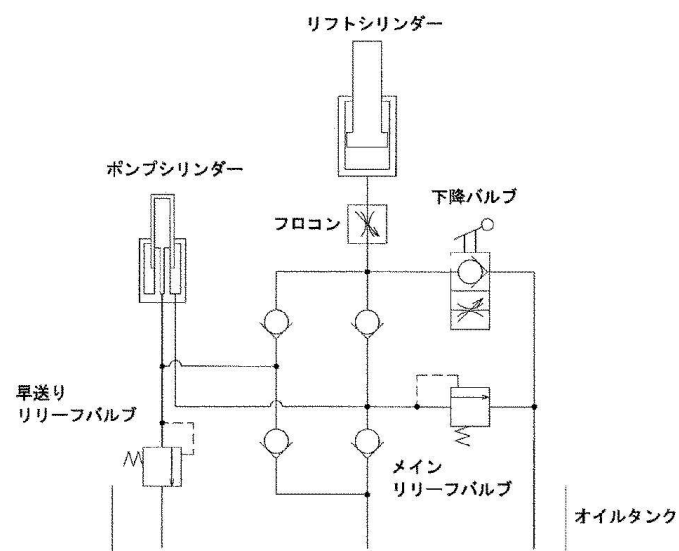
- ② ポジションピンを抜き、ペダルを水平に倒します。



- ③ 抜いたポジションピンを保管用の穴に通し、ダルマピンを取り付けて完了です。



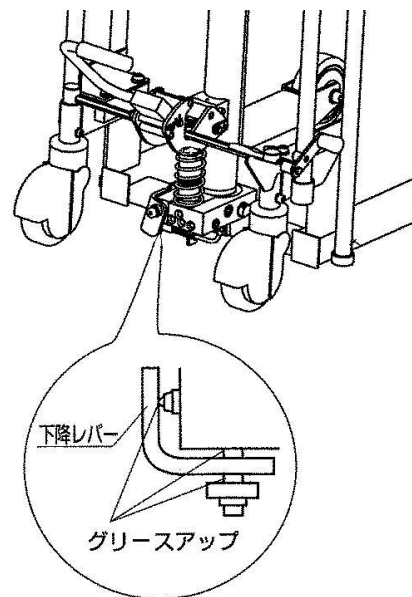
7 油圧回路図



8 定期点検

安全にご使用いただくために必ず定期点検を実施してください。

1. フォーク側面のローラー摺動部へのグリスアップ（6ヶ月毎）
2. ペダル支点ピンへの給油および各軸部への給油（6ヶ月毎）
3. 作動油の交換（1年毎）
（オイル量は本体仕様諸元を参照してください）
4. 下降レバーのグリスアップ（1週間毎）
（グリスアップ箇所は右図参照）



9 故障と対策

ここではご使用される皆様が手掛ける事のできる比較的やさしい故障の処理方法を述べています。
その他の故障や不審な点がありましたら、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。

故障状況	故障原因	対処方法
無負荷にて上昇しない	・作動油が入っていない ・ポンプシリンダーにエアが混入している	・作動油を入れる ・エア抜きを行う
無負荷早送りが遅い	・早送りリリーフバルブのゆるみ ・早送りリリーフバルブのシート不完全	・早送りリリーフバルブ増し締め ・リリーフバルブ部品を分解洗浄、もしくは交換
上昇するが自然降下する	・下降バルブが閉まりきっていない ・下降バルブ、コーンシートのシート不完全 ・チェックバルブの鋼球シート不完全 ・ラムロッド部Uパッキンの摩耗	・下降レバーのワイヤー調整 ・コーンシート部の部品洗浄もしくは交換 ・プラグを外し鋼球の洗浄もしくは交換 ・Uパッキンの交換
下降レバーを握って下降しない	・下降バルブが開いていない	・下降レバーのワイヤー調整 ・ロールピンが抜けていたり、ワイヤーが破損している場合交換
ポンプブランジャーからのオイル漏れ	・Oリング、Uパッキンの摩耗	・Oリング、Uパッキンの交換
トップナットからのオイル漏れ	・Oリング、Uパッキンの摩耗 ・ラムロッドの傷	・Oリング、Uパッキンの交換 ・ラムロッドの交換
下降中コントロールレバーを離しても止まらない	・下降レバーのグリス不足	・下降レバーのグリスアップ

10 廃 棄

本製品の廃棄については鉄鋼材、非鉄材、樹脂材、作動油に分別し、産業廃棄物として処理してください。作動油の処理方法に関しては、法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理をしてください。ご不明な場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

11 商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

- （１）使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- （２）商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- （３）消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- （４）火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- （５）指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- （６）日本国外で使用される場合。
- （７）保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- （８）設置に原因がある故障および損傷。
- （９）弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- （１０）酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

**本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、
錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

12 アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	商品保証規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。
お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておく、お問い合わせの際に便利です。

型式		
機体番号	No.	
購入年月日	年 月 日	
購入店名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設置業者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故障日・状況	年 月 日 状況：	

13 梱包リスト

下記表が梱包リストとなります。

注文品に相違がありましたら、お手数ですが販売店までお問い合わせください。

内容物	数量	チェック
本体	1	
取扱説明書	1	



販売会社、または施工業者の方へのお願い
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



会社ホームページはこちら
<https://bishamon.co.jp/>



●ご注文・納期・価格のお問合せ先
本社営業部
✉ sales@bishamon.co.jp
☎ 0566-53-1126
📠 0566-53-1844

●技術的なお問合せ先
カスタマーサポート
✉ support@bishamon.co.jp
☎ 0566-53-2281
📠 0566-53-1617

本社 〒444-1394 愛知県高浜市本郷町4-3-21 TEL.0566-53-1126 FAX.0566-53-1844
東京 〒146-0083 東京都大田区千鳥2-2-12 TEL.03-3759-9722 FAX.03-3759-9723
大阪 〒537-0002 大阪府大阪市東成区湊江南2-3-22 TEL.06-6747-7617 FAX.06-6747-7618

その他営業所 ホームページをご確認ください。

OM-KGL20F 2410 ㊞1002-S